



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 2007, 20: 2-2

ISSUE DATE:

2007-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179068>

RIGHT:

1. 概 要

平成 18 年度

□ 職員等の移動

- ・ 加藤哲哉教務補佐員を技術職員として採用（平成 18 年 4 月 1 日）。
- ・ 井上雅義事務掛員が理学研究科へ転出、田中雅浩事務掛員が医学部附属病院医務課南西医療事務掛から事務主任として着任（平成 18 年 4 月 1 日）。
- ・ 田中佐和子氏を教務補佐員として受入（平成 18 年 7 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日）。
- ・ 谷坂美和子事務主任が定年退職（平成 19 年 3 月 31 日）。引き続き再雇用職員として採用（平成 19 年 4 月 1 日）。
- ・ 白山義久教授がフィールド科学教育研究センター長に就任（平成 19 年 4 月 1 日）。

□ 行事・来訪者

- ・ 私費留学生として Yi-Ting Lien 氏を受入（平成 18 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日）。
- ・ JSPS サマープログラム留学生として Mia Steinberg 氏を受入（平成 18 年 6 月 20 日-8 月 20 日）。
- ・ 平成 18 年度博物館実習として納城なつみ氏（奈良女子大学理学部生物科学科 4 回生）・ 藪中麻衣子氏（北里大学水産学部水産生物科学科 3 回生）を受入（平成 18 年 7 月 2 日-7 月 6 日）。
- ・ 「シニア自然大学平成 18 年度マイスターコース」臨海実習を実施した。参加者 39 名（平成 18 年 8 月 26 日～27 日・講師 久保田 信助教授）。
- ・ 神戸国際会議場において「NaGISA 世界会議ー沿岸の生物多様性に関する国際シンポジウムー」を開催 参加者 122 名（21 ヶ国）（平成 18 年 10 月 15 日-18 日）。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報第 19 巻発行（平成 18 年 12 月 25 日）。
- ・ 有棘動物の分類に関する国際ワークショップを瀬戸臨海実験所で開催（平成 19 年 3 月 13 日-16 日）。

2. 臨 海 実 習

□平成 18 年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 INTER LAB	4/14-4/15	延	102 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海洋生物の生活史」	5/1-5/5	延	50 人・日
京都大学大学院人間・環境学研究科海洋化学実習	7/24-7/28	延	95 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海洋生物の多様性」	7/28-8/1	延	50 人・日
京都大学臨海実習第 1・4 部	8/1-8/8	延	96 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「節足動物学入門」	8/28-9/1	延	15 人・日
京都大学他公開臨海実習・臨海実習第 1 部	9/1-9/8	延	96 人・日
京都大学防災研究所気象海象観測実習	9/12-9/13	延	44 人・日
京都大学高等教育研究開発推進機構探求型化学実験（全学共通科目実習）	9/19-9/23	延	80 人・日
京都大学・北海道大学森里海連環学実習 B	9/24-9/26	延	39 人・日
京都大学生物科学ゼミナール	12/27-12/28	延	6 人・日